

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	9月22日(木)
コーポラティブ住宅部会	9月16日(金)
団地・マンション再生部会	8月1日(月)
福祉部会	9月14日(水)
総務部会	
広報部会	

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

☆進行中のプロジェクトニュース☆

・コーポラティブハウス神田東松下町パート3

躯体は7階まで立ち上がり、9月に上棟を迎えます。

・奥澤コーポラティブハウス

いよいよ8月着工です。引続き参加者(入居者)募集の住戸がありますので、どなたかお知り合いの方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

柳森神社のおたぬきさん

東松下町々会が氏子である柳森稲荷神社(須田町二丁目鎮座)では、他を抜く出世の福德を授かる・子宝に恵まれるという言い伝えて江戸時代より武家から町家の女子たちに信心されていた大小一組の土製の「おたぬきさん」が復活しました。

「おたぬきさん」は柳森稲荷神社での直接販売をしておりませんので、ご興味のある方は、ぜひとしまち研までお問い合わせください。



☆としまち研の夏休み☆

としまち研は、8/12(金)~16(火)までを夏季休業といたします。

としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

○借入金があるが何か建替えの方法はあるか。
○お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。
というような難しいご相談も検討します。
お気軽にご相談ください。

編集後記

皆さん400字という文字数はどう感じますか?小学生のころは「400字詰め原稿用紙〇枚分の作文・感想文を書くように」という夏休みの宿題が出て、休みの最後の方で、一生懸命マス目の数を数えて「減らない...書くことがない...」とうなされていたことを思い出します。

おいらのまちでは、よく400字前後で...という原稿のお願いをしますが、400字で文章をまとめるということは結構難しいですね。子供のころの苦勞とは逆ですね。(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数
正会員56人 賛助会員32人
編集発行人 比護彰彦
事務局担当 飛澤玲奈

としまち研会報 第52号

おいらのまち

2011.7

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

震災に備える ~自助・共助・公助~

東日本大震災から4ヶ月が経過しました。地震、津波、原発事故どれも未曾有のことですが、この大震災により、人々の天災地変に対する考え方が大きく変わってきました。原子力発電に対する考え方も、「安全神話」の時代から、実際に事故が起きたこと、起きたらその影響は計り知れないこと、放射能汚染物の処理に必要な時間と費用など、誰もが座視することのできない時代に入ってきました。これは日本のみならず、ドイツをはじめ世界中に大きな影響を及ぼしています。

当面、私たちにできることは、原子力発電について未来に対して責任がもてるような議論をすること、あわせて30年以内に70%の確率で起こるといわれている首都圏での地震に備えること、そして何よりも東日本大震災の復興支援を忘れずに引き続き行うこと、などです。これは日常の課題となります。

前号でお知らせしたとおり、としまち研事務所のある東松下町々会では、7月6日(水)に町会各部横断的な組織を「東松下町安心向上委員会」と命名し、8月の第2回目の委員会で、想定される地震の前後で、家庭で対応すべきこと、町会として対応すべきこと、町内にある事業所に対して提案すべきこと、区・都・国などに要望すべきこと、などについて各委員が考えた案を持ち寄ることになりました。これは6月に東松下町で行われた千代田区の出前講座「大地震などの災害に備えて」のまとめとして講師の関政幸係長がお話された「自助(自らががんばる)、共助(お互いに助け合う)、公助(自治体などの支援)」を念頭において、町内での安心向上をめざす運動として動き出したものです。

一方、建設中のコーポラティブハウスでの動きもはじまりました。奥澤コーポラティブハウス建設組合では、7月16日(土)に第1回防犯・防災対策検討委員会が開催され、会の目的や役割を確認するとともに、検討課題全般について意見交換をし、次回8月の第2回委員会までの課題を確認しました。

また、(仮称)コーポラティブハウス神田東松下町パート3でも8月6日(土)に予定されている第1回目の防災対策検討チームとして、千代田区の出前講座をお願いすることにしました。

それぞれある程度まとまったところで、情報交換ができればよいと考えています。

(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員による、リレー形式のエッセイです。

『ただ今、修行中...』 としまち研 大須賀和宏

ふと、趣味で稽古している心身統一合氣道が30年を越えているのに気付く。腕前は別として、三日坊主の自分が、よくこんなに続いたと我ながら感心してしまう。

心身統一合氣道に於いて修行する目的は、天地をプラスに受け止めて、そのプラスの心を我が心とし、日常万般に行う事にあります。

心には色も形もないが身体には色も形もあり、五感で捉えることが出来るので、つい、心を忘れ身体だけを自分と思う錯覚に陥ってしまう。たとえば、薬や医者ばかりを頼みにし、天地より与えられた生命力を無視した結果、故障、病に苦しむ人も多いのではないのでしょうか。

心身は一如であり、心が身体を動かすという原則のもと、心身統一を求めるための方法として、技の他に、鎮心、洗心、息心の行や氣圧療法などがあり、道は深い。これからも終わりのない修行の旅は続いていく...

※次号の『ひとりごと』は佐久間弘さんです。お楽しみに。



東松島市立大曲小学校にラジオを届けました(2面参照)

一木会ご報告 (原則、毎月第一木曜日に COMS HOUSE で行う勉強会・交流会です)

★第190回一木会 (2011. 6. 2)

奥会津地熱株式会社の安達正敏社長に、「地熱エネルギー資源～利用の現状と今後の可能性～」というテーマで、地熱エネルギー活用の基本から将来展望までお話をいただきました。



開発から経営まで自ら取り組まれた実績が滲み出るわかりやすいお話でした。

自然エネルギーへの転換が課題となっているなか貴重な時間になりました。

★第191回一木会 (2011. 7. 7)

株式会社ゼロワンオフィス一級建築士事務所の伊藤正社長に、「ゼロワンオフィスの活動/コーポラティブハウスのポジションを考える」と題し、どうしてコーポラティブハウスを手がけたのかにはじまり、今後のめざす方向の提言までお話をいただきました。“普通”の設計事務所がコーディネート業務を含めてコーポラティブハウスに取り組んだご苦労と伊藤所長の強靱な精神が伺われる素晴らしいお話でした。



今後の一木会予定

★8月 (8月4日) 【第192回一木会】

(株)地域計画研究所 代表取締役 若山徹さん・リガーレ日本橋区形町管理組合 理事長 鈴木健一さん 『東日本大震災と超高層マンションの防災対策』

★9月 (9月1日) 【第193回一木会】★

ある方と交渉中 お楽しみに

石巻復興支援ボランティア報告

6月11日(土)の深夜、日付が変わる頃に喧噪の池袋に集合した市野隊長と飛澤、横山。今回は旅行会社のボランティアツアーで石巻市に行ってきました。日曜朝には石巻市に到着し、津波による被災地の光景と水産品が腐敗した強烈な臭いにしばし呆然としました。作業は病院だった建物の泥の撤去です。ここでも1階の天井まで津波が押し寄せ、多くの患者さんが亡くなったと聞きました。慣れない作業の上、汗がとめどなく流れますが、誰もが黙々と作業をこなし、夕方にはかなりの泥を掻き出すことが出来ました。



作業を終えて

日曜深夜、日付が変わる頃に帰宅。魚の臭いのしみついた体を洗いながら、日々、現地で奮闘している人々を思い、今後も出来ることをしていきたいと感じました。(としまち研 横山朋紀)

「福田さんと五十嵐さんの結婚を祝う会」を開催しました

としまち研事務局の五十嵐敦子さんが、福田幸二さんと3月に入籍されました。

五十嵐さんから2月に開催されたとしまち研理事会で「私、結婚することになりました。」とのサプライズ報告があり、その場で二人を祝う会の実行委員会を結成、祝う会は6月5日(日)に開催しました。



ケーキカットではなく...

当日は、としまち研の会員や、五十嵐さんが仕事を通じてお知り合いになった方々、日ごろお世話になっている先輩方にご参加いただき、盛大なお祝い会となりました。

結婚式は7月18日(月)に湯島天神で無事、執り行われたそうです。結婚式の感想はまだ聞いていませんが、きっと感激されたことと思います。末永くお幸せに。(としまち研副理事長 坂口耕司)



お店のお手製ウェルカムボード

としまち研 第11回総会開催報告

5月26日(木)18時30分からCOMS HOUSE2階会議室で第11回通常総会が開催されました。

総会には正会員32名、賛助会員2名の計34名が参加。高杉理事の開会の辞、関事務局長の総会成立報告と会員の増減・新入会員の紹介、杉山理事長のあいさつの後、私葛西が議長に選出され拙い議事進行となりました。

議案審議では平成22年度事業報告、同収支決算、監査報告 平成23年度事業計画、収支予算に関する件、役員改選に関する件まで全て満場一致で承認されました。

かつてはとしまち研のあり方をめぐり、また方向性をめぐり熱い議論のなされた総会もありましたが、それらを踏まえて年を重ねるごとに皆の思いがひとつにまとまってきている、これも杉山理事長はじめ幹部やスタッフの方々の努力の賜物だなあと強く感じました。おかげで議長としては大変楽な総会となり、最後に鈴木理事による閉会の辞で無事終了となりました。

その後、場所を私の同級生が経営する神田駅前の東園(北京料理)に移し懇親会となりました。私が所要で一旦中座し、戻ってきたときには皆さん相当出来上がってしかも満足そうな顔をされておりました。

(としまち研理事 葛西充)



総会の様子

(仮称)奥澤コーポラティブハウス建設工事の地鎮祭を挙

奥澤コーポラティブハウスでは、7月2日(土)に地元の奥澤神社の宮司を斎主にお迎えして地鎮祭を挙行いたしました。

奥沢駅前の建設現場に25戸の入居者と設計、施工の方々、としまち研のスタッフを含めおよそ70名が参集。明け方は小雨模様でしたが、式典を始める頃にはきれいに晴れ上がり、おめでたい日にふさわしいお天気になりました。神職の祝詞にはじまり、設計、施主、施工の3者による鍬入れ式へと滞りなく進行、その後は参列者全員がそれぞれ玉串を奉奠して1時間ほどで無事閉



神事終了後

式となり、お神酒をいただきました。続いて行われた直会では、地元町会の原田前理事長から歓迎の言葉をいただき、入居者の自己紹介をはさんで和やかに歓談いたしました。

参加者募集から1年余、今までは設計を中心とした書類上の作業でしたが、これからは建物そのものが、入居者それぞれの希望にそったものに向けて少しずつ形を現してくることで実感もわいてくるものと期待しています。

(奥澤コーポラティブハウス建設組合理事長 谷岡研)



近隣へあいさつまわり

東松島市の小学校へ防災ラジオの支援報告

としまち研では、東日本大震災発生直後から義援金を集め、使い道についてはその都度復興支援委員会にて検討しています。このたび、西早稲田シェアハウスにお住まいで、(財)ユネスコ・アジア文化センターにお勤めの中田晃子さんからの紹介で、宮城県東松島市立大曲小学校から防災ラジオの要請があり、としまち研としてぜひ協力しようとユネスコから2名(中田さん・小澤さん)ととしまち研から4名(平石・坂口・葛西・飛澤)でラジオを直接届けるとともに、被災地の視察をしてきました。

岩手県釜石市から南へ、宮城県東松島市、気仙沼市へ視察に行きました。戦後?クーデター?...適切な言葉が見つかりません。何とも言えない異臭が鼻を突き刺しました。建物が模型に見えました。被害に遭われた方、大切な人を失った方...どんなに辛い思いをしているか私には想像できません。我々には出来ること、出来ないことが限られていると思います。出来ることを「行動にうつす」ことは簡単なようで難しいことです。しかし、出来る範囲で「継続的に」支援を続けていきたいと強く思いました。

自然の力は我々の意思とは関係なく、時に、猛威を振ります。車の中から見上げた空が、そんなことを忘れさせるほどとても美しかったことに、何とも言えない気持ちになりました。(西早稲田シェアハウス 中田晃子)

